



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 東洋埠頭株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9351 URL <http://www.toyofuto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 匡史
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 佐古 一彦 TEL 03-5560-2702
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,754	2.6	907	0.6	1,043	3.0	458	△30.3
2019年3月期第2四半期	17,302	1.9	902	△15.6	1,013	△12.0	658	△17.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 268百万円 (△73.2%) 2019年3月期第2四半期 999百万円 (△10.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	59.52	—
2019年3月期第2四半期	85.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	38,269	20,246	52.6	2,615.58
2019年3月期	38,869	20,171	51.7	2,606.78

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 20,146百万円 2019年3月期 20,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	2.5	1,800	4.3	1,900	△0.6	1,250	△0.1	162.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	7,740,000株	2019年3月期	7,740,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	37,447株	2019年3月期	37,437株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	7,702,560株	2019年3月期2Q	7,703,013株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、P. 3をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の荷動きは概ね堅調に推移しました。しかし、物流を取り巻く環境は、人手不足などの影響によりコストが増加し、厳しい経営環境が継続しました。

このような経営環境の中、当社グループでは、グループ各社の連携を一層強化し、営業の拡大、経営基盤の強化、社会的責任の向上に取り組んでまいりました。

国内総物流事業は、食品類、石油化学品などの取扱 quantity が増加し、倉庫保管残高、入出庫数量が前期を上回りました。またコンテナの取扱 quantity も増加しました。しかし、輸入青果物は取扱 quantity が大きく減少しました。

国際物流事業は、ロシアを中心とした貨物の取扱 quantity が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収入は177億5千4百万円（前年同期比4億5千2百万円、2.6%の増収）、営業利益は9億7百万円（前年同期比5百万円、0.6%の増益）となりました。また、営業外収支で当期は為替差益を計上したことなどにより、経常利益は10億4千3百万円（前年同期比3千万円、3.0%の増益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、「火災による損失」を計上したことにより4億5千8百万円（前年同期比1億9千9百万円、30.3%の減益）となりました。

セグメントの概況は次のとおりです。

○ 国内総物流事業

国内総物流事業の営業収入は161億7千万円（前年同期比1.7%の増収）、営業利益は8億5千4百万円（前年同期比1.0%の増益）となりました。

《倉庫業》

倉庫業の営業収入は55億1千9百万円（前年同期比3.1%の増収）となりました。入出庫数量は191万トン（前年同期184万トン）、平均保管残高は30万トン（前年同期28万トン）でした。普通倉庫貨物は、食品類、石油化学品などが増加しました。サイロ貨物は麦類が増加しました。輸入青果物はキウイが増加しましたが、生産地での天候不順によりバナナ、パインは減少しました。冷蔵倉庫貨物は堅調に推移しました。

《港湾運送業》

港湾運送業の営業収入は40億8千5百万円（前年同期比0.1%の増収）となりました。ばら積み貨物の取扱 quantity は246万トン（前年同期243万トン）でした。穀物類、石炭は増加しましたが、残土が大きく減少しました。

コンテナ取扱 quantity は132千TEU（前年同期117千TEU）でした。新規航路開設などにより川崎港、志布志港での取扱 quantity が増加しました。

《自動車運送業》

自動車運送業の営業収入は30億2千1百万円（前年同期比1.9%の増収）となりました。タイヤ、農業資材などの取扱 quantity が増加しました。

《その他の業務》

その他の業務の営業収入は35億4千4百万円（前年同期比1.4%の増収）となりました。物流関連施設の賃貸収入が増加しました。

○ 国際物流事業

国際物流事業の営業収入は17億1千4百万円（前年同期比12.2%の増収）、営業利益4千8百万円（前年同期比5.6%の減益）となりました。ロシアでの貨物取扱 quantity が増加しましたが、輸送費や人件費などが増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 全般の概況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億円減少し、382億6千9百万円となりました。固定資産が有形固定資産の減少や、株価の下落による投資有価証券の減少等に伴い、前連結会計年度末に比べ4億9千9百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億7千5百万円減少し、180億2千2百万円となりました。設備関係支払手形が減少し、借入金も長期短期合わせて2億5千4百万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7千5百万円増加し、202億4千6百万円となりました。その他有価証券評価差額金は1億9千7百万円減少しましたが、利益剰余金が2億6千5百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は52.6%で前連結会計年度末比0.9ポイント上昇しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より、8百万円増加し、13億5千6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が減少したこと等により、前年同期に比べ7億6千7百万円増加し、15億5千7百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億8千2百万円の純支出となりました。固定資産の取得による支出が増加したこと等により、前年同期に比べ2億3千5百万円純支出が増加しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億7千2百万円の純支出となりました。長期借入金の返済による支出は減少しましたが、長期借入による収入や短期借入金の純増減額の減少等により、前年同期に比べ1億9千7百万円純支出が増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループでは、営業活動による連結業績が概ね堅調に推移していることから、2019年5月20日の決算短信にて公表した通期の連結業績予想につきまして変更はありません。

なお、川崎支店において2019年4月16日に発生したベルトコンベア火災の復旧等に係る費用並びに営業活動等に及ぼす影響については現在も調査中であり、合理的に見積もることは困難な状況であるため、連結業績見通しには加味しておりません。業績予想の修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,748	1,756
受取手形及び営業未収入金	4,045	3,945
原材料及び貯蔵品	162	186
前払費用	106	210
その他	589	455
貸倒引当金	△0	△3
流動資産合計	6,652	6,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,820	52,970
減価償却累計額	△39,534	△39,954
建物及び構築物 (純額)	13,285	13,016
機械及び装置	20,751	20,390
減価償却累計額	△18,156	△17,974
機械及び装置 (純額)	2,594	2,415
船舶及び車両運搬具	1,156	1,209
減価償却累計額	△1,080	△1,103
船舶及び車両運搬具 (純額)	76	105
工具、器具及び備品	965	984
減価償却累計額	△878	△882
工具、器具及び備品 (純額)	86	101
土地	8,461	8,461
リース資産	65	111
減価償却累計額	△38	△45
リース資産 (純額)	27	65
建設仮勘定	0	8
有形固定資産合計	24,532	24,174
無形固定資産		
リース資産	1	1
その他	122	125
無形固定資産合計	124	126
投資その他の資産		
投資有価証券	5,693	5,457
長期貸付金	88	58
繰延税金資産	358	436
その他	1,447	1,493
貸倒引当金	△26	△29
投資その他の資産合計	7,561	7,416
固定資産合計	32,217	31,718
資産合計	38,869	38,269

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,036	3,025
短期借入金	5,136	5,372
リース債務	12	21
未払金	811	798
未払法人税等	139	246
設備関係支払手形	822	368
その他	1,052	994
流動負債合計	11,011	10,828
固定負債		
長期借入金	5,546	5,056
リース債務	16	48
退職給付に係る負債	1,910	1,888
役員退職慰労引当金	8	8
資産除去債務	55	55
その他	149	137
固定負債合計	7,687	7,194
負債合計	18,698	18,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	5,528	5,794
自己株式	△61	△61
株主資本合計	18,909	19,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,322	1,125
為替換算調整勘定	164	151
退職給付に係る調整累計額	△318	△305
その他の包括利益累計額合計	1,169	971
非支配株主持分	92	99
純資産合計	20,171	20,246
負債純資産合計	38,869	38,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収入	17,302	17,754
営業原価	15,525	15,926
営業総利益	1,777	1,827
販売費及び一般管理費	874	919
営業利益	902	907
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	83	85
受取地代家賃	45	43
持分法による投資利益	—	5
為替差益	—	15
その他	60	46
営業外収益合計	190	198
営業外費用		
支払利息	60	58
持分法による投資損失	4	—
為替差損	6	—
その他	6	4
営業外費用合計	79	62
経常利益	1,013	1,043
特別利益		
固定資産売却益	4	0
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産除却損	55	35
火災による損失	—	354
特別損失合計	55	390
税金等調整前四半期純利益	962	654
法人税、住民税及び事業税	138	213
法人税等調整額	166	△25
法人税等合計	305	188
四半期純利益	657	466
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	658	458

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	657	466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	321	△194
為替換算調整勘定	22	△12
退職給付に係る調整額	△0	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△3
その他の包括利益合計	342	△197
四半期包括利益	999	268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,000	260
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	962	654
減価償却費	798	801
業務システム開発中止に伴う損失引当金の増減額 (△は減少)	△225	—
引当金の増減額 (△は減少)	△15	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19	△2
固定資産処分損益 (△は益)	50	34
借地権利金償却額	9	9
火災による損失	—	354
受取利息及び受取配当金	△84	△87
支払利息	60	58
持分法による投資損益 (△は益)	4	△5
売上債権の増減額 (△は増加)	155	108
仕入債務の増減額 (△は減少)	△115	△20
その他	△47	△283
小計	1,533	1,627
利息及び配当金の受取額	85	101
利息の支払額	△59	△57
法人税等の支払額	△538	△112
その他	△230	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	790	1,557
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50	△50
定期預金の払戻による収入	50	50
固定資産の取得による支出	△709	△1,039
固定資産の売却による収入	4	1
固定資産の除却による支出	△26	△51
投資有価証券の取得による支出	△9	△8
貸付けによる支出	△499	△302
貸付金の回収による収入	392	317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△847	△1,082
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	163	△20
長期借入れによる収入	970	650
長期借入金の返済による支出	△1,205	△901
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△196	△193
リース債務の返済による支出	△8	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△275	△472
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△338	8
現金及び現金同等物の期首残高	1,495	1,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,157	1,356

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(当社川崎支店の火災について)

2019年4月16日に、当社川崎支店において、ベルトコンベアから火災が発生し、近隣の施設に延焼しました。当社施設に係る損失については「火災による損失」として計上しております。復旧等に係る費用並びに営業活動等に及ぼす影響については現在調査中であり、合理的に見積もることは困難な状況であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,837	1,465	17,302	—	17,302
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	62	119	△119	—
計	15,893	1,527	17,421	△119	17,302
セグメント利益	846	51	897	5	902

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,126	1,627	17,754	—	17,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43	86	130	△130	—
計	16,170	1,714	17,884	△130	17,754
セグメント利益	854	48	902	5	907

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。